

- 問1 鳥取県の青谷上寺地遺跡などの出土品をまとめた資料では、木製品や骨角器とともに、石器、金属器、そしてこの時代の特徴的な土器が並んで示されています。これらの道具が併用されていた弥生時代の土器に見られる、縄文土器と比較した際の外見上の特徴として、最も適切なものはどれか。 (2016年 鳥取県公立入試 類似)
1. 仏教の儀式に用いるために、表面に金色の装飾や仏像が描かれている
 2. 表面に細目の文様がつけられ、全体的に薄手で実用的である
 3. 表面に縄目のような力強い文様がつけられ、全体的に厚手である
 4. 青灰色をしており、非常に硬く焼かれた朝鮮半島由来の技術で作られている
- 問2 邪馬台国の女王が中国の魏の皇帝に使者を送った際、皇帝から授けられたとされる称号と、その証として贈られた品物の組み合わせとして適切なものを選びなさい。 (2025年 長野県公立入試 類似)
1. 「親魏倭王」の称号と、金印や銅鏡
 2. 「漢委奴国王」の称号と、志賀島で発見された金印
 3. 「倭王」の称号と、百済から贈られた七支刀
 4. 「日本国王」の称号と、明との貿易に用いられた勘合符
- 問3 3世紀の日本の様子が記された中国の史書『三国志』の「魏志」倭人伝において、約30の国々をまとめ、中国の魏に使いを送ったとされる邪馬台国の女王は誰ですか。 (2025年 長野県公立入試 類似)
1. 推古天皇
 2. 持統天皇
 3. 卑弥呼
 4. 北条政子
- 問4 弥生時代に大陸から稲作とともに伝わった青銅器のうち、表面に幾何学模様や当時の生活・自然の様子が描かれ、釣鐘のような独特の形状をしている道具の主な用途として最も適切なものを選びなさい。 (2023年 三重県公立入試 類似)
1. 獲物を捕らえたり身を守ったりするための狩りの道具
 2. 土を耕し田植えをするための農業用の道具
 3. 豊作などを祈るための祭りの道具
 4. 食料を保存し煮炊きをするための道具
- 問5 3世紀頃の倭国において、邪馬台国を中心に30ほどの国々をまとめ、中国の魏から「親魏倭王」の称号や金印を授けられた人物は誰ですか。 (2020年 埼玉県公立入試 類似)
1. 持統天皇
 2. 卑弥呼
 3. 北条政子
 4. 推古天皇
- 問6 弥生時代の日本における生活や道具について述べた次の文のうち、歴史的事実として正しいものはどれですか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
1. ナウマンゾウなどの大型の動物を捕らえて主な食料としていた
 2. 表面に縄目の文様がついた土器が、煮炊きや貯蔵に広く使われた
 3. 大陸から渡来人によって仏教が伝えられ、寺院が建立され始めた
 4. 稲作が本格的に広まり、収穫のために石包丁が利用された
- 問7 1世紀頃、日本（倭）の小国の王が中国の漢（後漢）の皇帝に使いを送り、皇帝から臣下として認められた証として授けられたとされる金印には、どのような文字が刻まれていますか。 (2019年 長野県公立入試 類似)
1. 志賀島
 2. 漢委奴国王
 3. 卑弥呼
 4. 親魏倭王
- 問8 紀元1世紀、倭の奴国の王が大陸へ使節を送り、後漢の皇帝から授けられたとされる金印について、その事実が記述されている中国の歴史書として正しいものはどれですか。 (2023年 富山県公立入試 類似)
1. 「魏志」倭人伝
 2. 「後漢書」東夷伝
 3. 「宋書」倭国伝
 4. 「隋書」倭国伝
- 問9 弥生時代に大陸から伝わった技術や文化が、当時の社会に与えた影響を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 巨大な前方後円墳を築くための高い土木技術が伝わり、各地に大規模な古墳が作られた。
 2. 稲作の普及により食料の蓄えが可能になり、貧富の差や集団をまとめる王が現れた。
 3. 青銅器が実用的な農具として普及したことで、開墾が進み全国的な統一国家が誕生した。
 4. 狩猟や採集がより効率的になり、人々は移動を繰り返しながら竪穴住居に住んだ。
- 問10 福岡県などで出土した、表面が滑らかで機能的な形をした壺型の土器について、その形状や性質が変化した背景として最も適切なものはどれか。 (2026年 北海道公立入試 類似)
1. 稲作が普及したことで、収穫した食料の貯蔵や煮炊きといった生活道具としての使いやすさが重視されるようになったから。
 2. 狩猟や採集を中心とした移動生活に耐えられるよう、衝撃を吸収するためにあえて厚手に作る技術が途絶えたから。
 3. 青銅器や鉄器が普及したことで土器が使われなくなり、儀式用の飾りとしてのみ作られるようになったから。
 4. 大陸から伝わった仏教の影響により、華美な装飾を避けて質素な道具を作ることが社会の決まりとなったから。
- 問11 日本列島で稲作が広まり、人々が竪穴住居に住んで定住生活を行っていた時代について説明した記述があります。その記述には、大陸から伝わった銅鐸や銅鏡などの青銅器が祭りの道具として用いられていたことや、当時の中国の歴史書において日本が「100余りの国」に分かれていたと記されていることが示されています。この時代の名称として正しいものを選びなさい。 (2022年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 弥生時代
 2. 縄文時代
 3. 古墳時代
 4. 奈良時代
- 問12 邪馬台国の女王である卑弥呼が、中国の魏（ぎ）へ使いを送り、皇帝から「親魏倭王」の称号や金印、多数の銅鏡を授かった政治的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 秋田県公立入試 類似)
1. 魏の強力な軍勢力を日本に直接呼び寄せ、九州地方の反乱勢力を武力で鎮圧するため
 2. 魏の優れた律令制度をそのまま日本に導入し、中央集権国家をいち早く確立するため
 3. 魏の後ろ盾を得ることで自らの権威を高め、国内の統治や他国との関係を有利に進めるため
 4. 魏と共同で朝鮮半島の高句麗を攻撃し、領土を拡大するための軍事同盟を結ぶため
- 問13 日本の弥生時代中期には、現在の千葉県茂原市に位置する宮ノ台遺跡から出土した「宮ノ台式土器」に代表されるような地域独自の文化が見られました。この日本の弥生時代中期と同じ頃、地中海周辺を中心とする世界ではどのような歴史的な動きがありましたか。 (2023年 千葉県公立入試 類似)
1. エジプトで巨大なピラミッドが建設され、王の強大な権力が示されていた。
 2. 中国で殷（商）が成立し、祭祀に用いるための精巧な青銅器が作られていた。
 3. ローマが領土を拡大し、地中海一帯を支配するローマ帝国となった。
 4. メソポタミアでハンムラビ王が法典を整え、周辺地域を統一した。
- 問14 弥生時代に大陸から伝わった青銅器の一つで、釣鐘（つりがね）のような独特の形をしており、主に近畿地方を中心に発見されている、農耕の祭祀（さいし）に使われたと考えられている道具の名称として適切なものを次の中から選びなさい。 (2020年 山口県公立入試 類似)
1. 銅鐸
 2. 銅鏡
 3. 銅剣
 4. 銅矛